

報道関係各位

2020年11月12日

**塵芥収集車の積込作業時における巻き込まれ被害を軽減
人感エリアセンシング技術を用いた安全支援装置を開発**

株式会社モリタホールディングス

当社の連結子会社である株式会社モリタエコノス(本社:兵庫、代表取締役:玉置敏之)は、塵芥収集車の積込作業時における巻き込まれ被害を軽減する安全支援装置を開発いたしました。2021年度内の販売を予定しております。

塵芥収集車の積込作業時において、人が巻き込まれるなどした際には負傷・死亡事故につながることもあり、その安全対策は重要な課題となっておりました。

安全支援装置は、当社独自の「人感エリアセンシング技術」を用いて積込作業時に生じる危険を検知し、その程度に応じて積込機構を最適制御することで、ごみ収集の効率と安全性の両立を目指します。

モリタエコノスは、「人と地球のいのちを守る」というコーポレートスローガンのもと、今後もお客様の声を大切に、より安全で実用性の高い製品とソリューションを提供してまいります。

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:石橋 TEL:03-6400-3485